

中学部経営方針

ア 教育目標

- (ア) 国語や数学などの日々の学習により日常生活や社会生活に必要な基礎学力を高め、それらを生活に生かすことができる力を育てる。
- (イ) 地域とつながる作業学習、職場体験学習を積み重ねることで、社会への憧れの気持ちをもつとともに、将来の自立と社会参加に必要な力を育てる。
- (ウ) 地域交流、学校間交流、縦割り活動（様々な部・学年での活動）など、様々な人との交流をとおして、自己理解を深め、望ましい人間関係づくり、コミュニケーション力を養う。

イ 努力事項

- (ア) 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と生活年齢に配慮した学習内容・方法の充実を図る。
- (イ) OTA キャリア教育プランを踏まえた職場体験学習や校内での作業学習をとおして、将来の夢や希望、憧れの気持ちをもち、自立と社会参加のための基礎的、基本的な力をつけることができるようにする。
- (ウ) 体験学習や交流学习をとおして、様々な人とふれ合う経験を重ね、生徒が積極的に活動できるよう努める。

ウ 特色ある授業の実施

(ア) 職場体験学習

小学部のお仕事体験を踏まえ、中学部1～3年生の異学年縦割りグループを組み、教師引率のもと、学校近隣の事業所等で体験学習をする。社会の役に立ち褒められる体験や、地域の人々と活動を共にする経験を重ねる。6・10月に、月2回、デュアルシステム型の体験を行う。

(イ) 読書タイム

学年ごとに週1時間、図書室での学習を実施する。自分で興味のある本を読んだり、感想を伝えたりすることで、国語の基礎的・基本的な知識を身に付け、伝え合う力を高める。

(ウ) 数学チャレンジタイム

学年ごとに、毎日10分間、数学の学習を繰り返すことで、生活に生かすことができる時計や金銭の学習など、基礎学力をつける。

(エ) さくらタイム

週1時間の特別活動では、中学部から高等部までの異なった年齢集団での縦割りグループ活動（委員会的活動等）を実施することで、様々な人と協力し、助け合う力を育てる。先輩としての誇り、先輩へのあこがれの気持ちも育てる。

(オ) 交流学习

居住地校交流や学校間交流、地域交流等に積極的に参加することで、居住地や近隣の方々等様々な人とのふれ合いをとおして楽しみながら豊かな人間関係を育てる。